

翌年産に向けて

(本年産の成果と課題を翌年産に活用しましょう！)

**1. 栽培終了前後の対策活動～本年産のふりかえりと来年に向けた取組～****1) 集落環境診断の実施**

- (1) 環境診断の要点（防護柵の状態・獣道及び足跡・被害を受けた圃場・放任果樹・耕作放棄地等）を整理する。
- (2) 整理した要点に沿って現地を見回り、現状を記録（写真、書き込み、模写）する。
- ※集落の概要（圃場・河川等の水路・道路・住宅）が分かる地図を持って行くと効率的に記録できます。



写真1. 害獣の通り道①
※奥の山林から手前の農道に侵入



写真2. 圃場に侵入した跡
※電気柵と地際の間隔が広がった所から潜り込んだもの



写真3. 害獣の足跡
※比較的新しいもの



写真4. 害獣の通り道②
※圃場を荒らした後山林側に脱出

環境診断の結果分かったこと：被害の実態、害獣の行動パターン、防護柵の改善点など

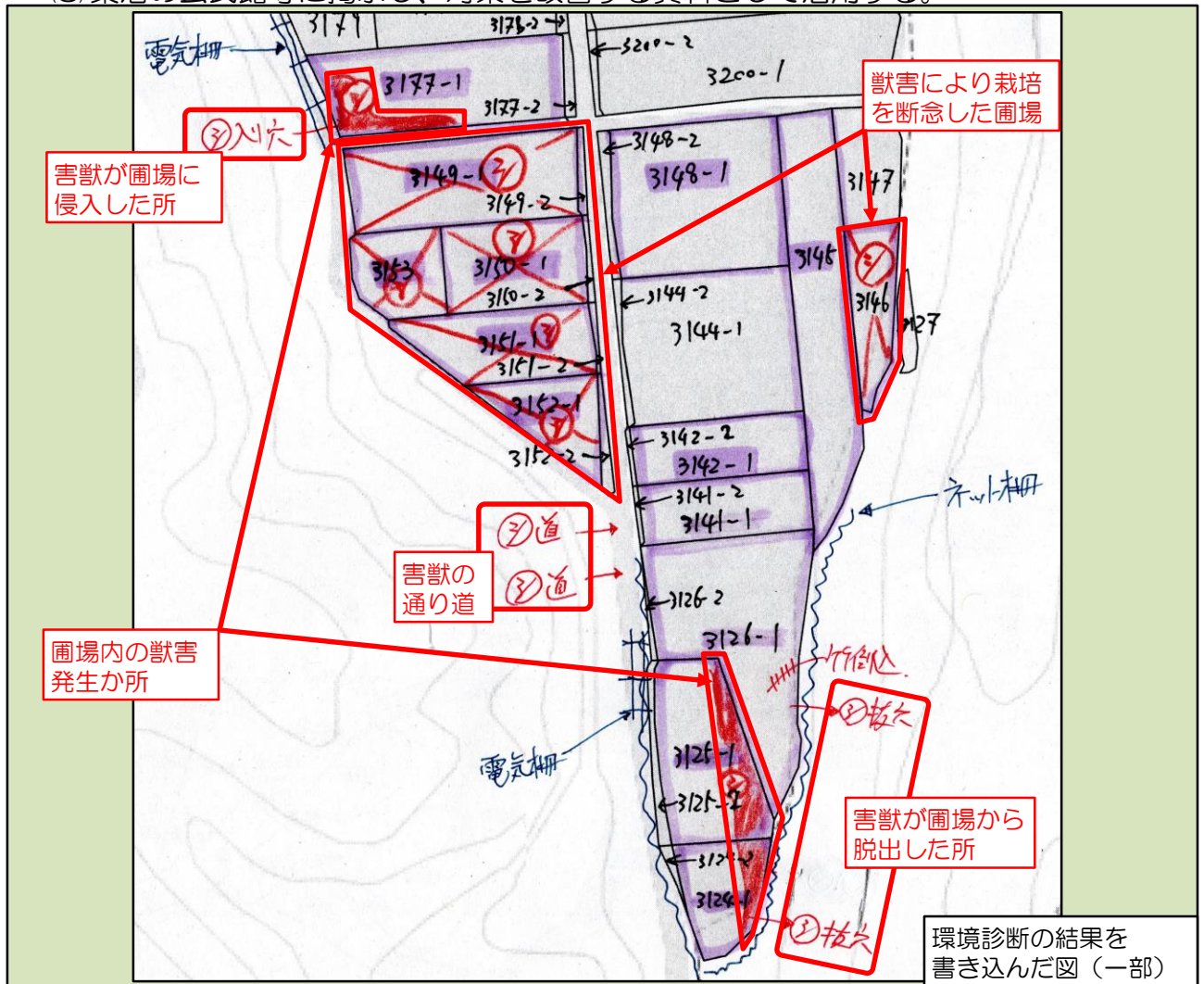
ポイント

- 栽培終了後の集落環境診断は、非農家を含む多様な視点で鳥獣被害対策の成果や課題を知る好機です。幅広く参加を呼び掛けてください。

裏面へ

2) 住民による情報共有

- (1) 集落の概要が分かる地図（1m四方くらいのものが最良）を用意する。
- (2) 地図上に、環境診断で分かった対策の成果及び課題等を書き込む。
- (3) 集落の公民館等に掲示し、対策を改善する資料として活用する。



ポイント

- ・対策の成果及び課題を記録し、より効果的な対策を考える材料とします。

2. 脅しは長続きしません！～害獣も生きるために日々学習しています～

集落内に、下記のような一時的にしか効果のない脅し道具が見られることがあります。

参考 集落（自治区）で見られる代表的な脅し道具	
脅しの要素	機器・資材等
色	桃色のビニールテープ等
音声	ラジオ、鈴、爆音器、効果音発生器等
（青色）光	LEDライト、ストロボ、電気灯等
異臭	クレオソート、木（竹）酢液、防虫剤、灯油
異物	人の髪の毛、オオカミの尿、猛獣の糞等
	猛獣・猛禽・人型の力カシ、空き缶、古傘等

ポイント

- ・害獣に脅し道具が効いている様な反応は、単に「見慣れないものが突然目の前に出てきたことに困惑」している状態です。
- ・慣れると「脅し道具とエサはセット」と学習し、被害が拡大する可能性があります。

※鳥獣被害対策には科学的根拠に基づいた、正しい知識の習得が不可欠です！

お問合せ先：大分県中部振興局

農業被害（水稲・麦・大豆等）

狩猟免許・林業被害

ホームページ

集落営農・農地活用班

森林管理班

電話097-506-5791

電話097-506-5749

：http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouthou.html